

消費者の選考（無差別曲線の形状）と所得（利用可能な金額）が変化せず、他財（分析対象とする財以外の財）の価格が変化せず、財の価格が変化した場合、消費者が購入する財の量がどのように変化するかを示したものが個別需要曲線（Individual Demand Curve）である。財の価格を縦軸に、消費者が購入する財の量を横軸にとって描かれる。

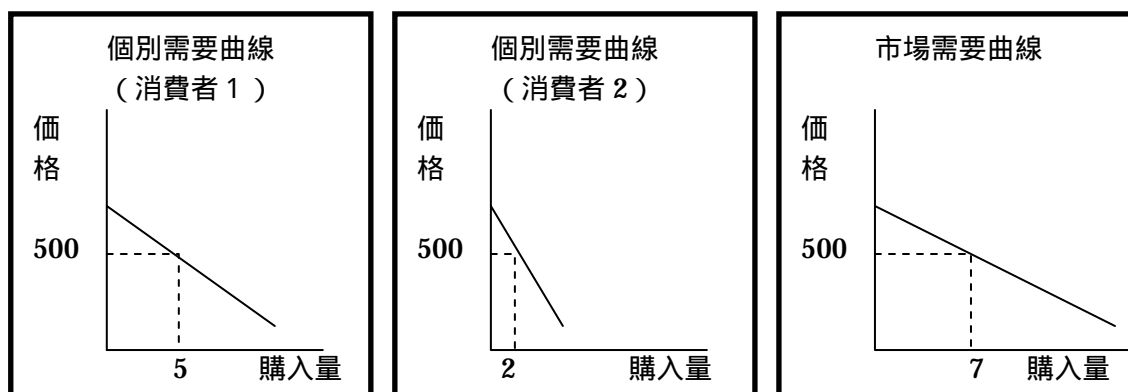
③ 個別需要曲線の傾き

一般的に、個別需要曲線は右下がりであり、このことは財の価格が下落するにつれて、需要が増加することを意味する。

2) 市場需要曲線 (Market Demand Curve)

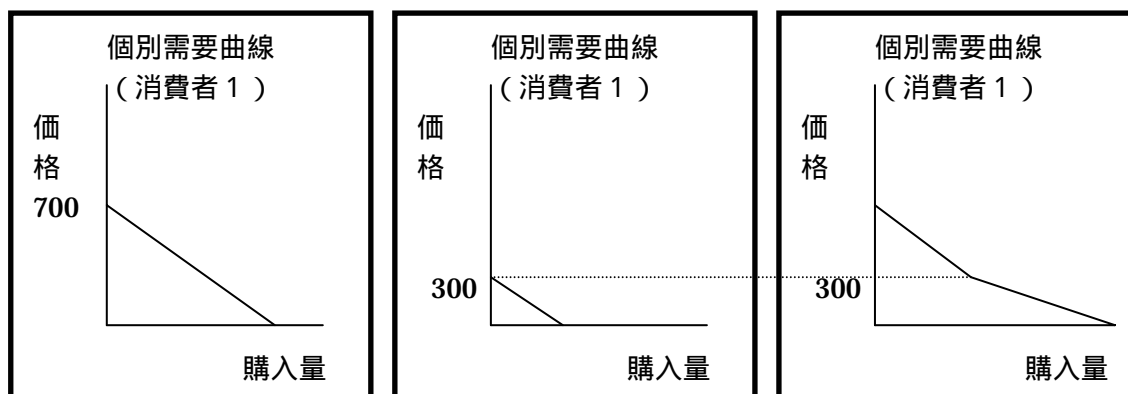
① 市場需要曲線の導出

個別需要曲線を水平方向に足し合わせたもの（特定の価格で、全員が欲する量を合計したもの）が、市場需要曲線となる。



② 市場需要曲線の傾き

市場需要曲線も右下がりである。これは、個別需要曲線が右下がりであるため、価格が下落すると今まで購入しなかった人が購入するようになるためである。



3) 需要曲線のシフト(要因)

- 所得の変化
- 代替財の発明及び価格の変化
- 補完財の価格の変化
- 選好の変化
- 情報・予想の変化
- 人口構成の変化
- 信用の入手可能性の変化

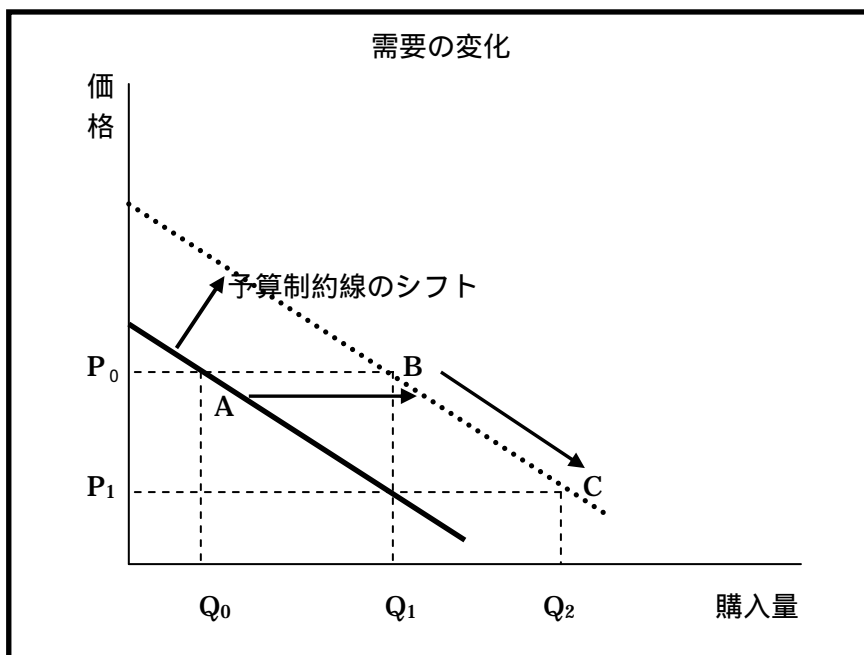
一方の財の価格の上昇が、他方の財の需要を増加させる場合、2財は代替財であるという。

例 マーガリンとバター

一方の財の価格の上昇が、他方の財の需要を減少させる場合、2財は補完財であるという。

例 コーヒーとクリーム

4) 需要の変化



- A B 予算の上昇による変化
B C 価格の低下による変化

3. 供給 (Supply)

1) 個別供給曲線

① 利潤極大化企業

個々の企業にとって、製品価格、労働賃金、資本のレンタルコスト、は所与である。企業は、労働者数、資本の量を変化させ、利潤の極大化を達成する。

② 個別供給曲線の意味

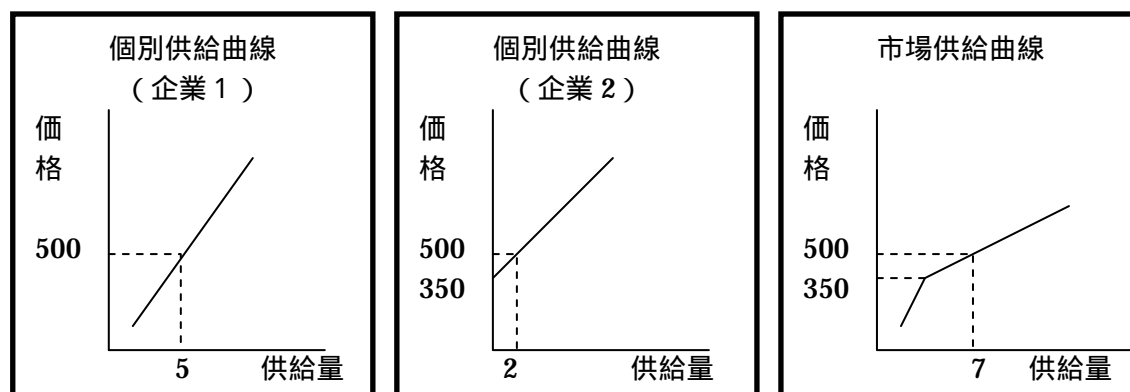
企業の生産能力、投入財の価格、他の生産財の価格、が変化せずに、ある生産財の価格が変化した場合、個々の企業が生産する財の量がどのように変化するかを示したものが個別供給曲線 (Individual Supply Curve) である。財の価格を縦軸に、生産者 (企業) が生産する財の量を横軸にとって描かれる。

③ 個別供給曲線の傾き

一般的に、個別供給曲線は右上がりであり、このことは財の価格が上昇するにつれて、供給が増加することを意味する。

2) 市場供給

個別供給曲線を水平方向に足し合わせたもの (特定の価格で、全企業が生産する量を合計したもの) が、市場供給曲線となる。



② 市場供給曲線の傾き

市場供給曲線も右上がりである。これは、個別供給曲線が右上がりであるため、価格が上昇すると今まで生産しなかった企業が生産するようになるためである。

3) 供給曲線のシフト(要因)

投入財の価格変化

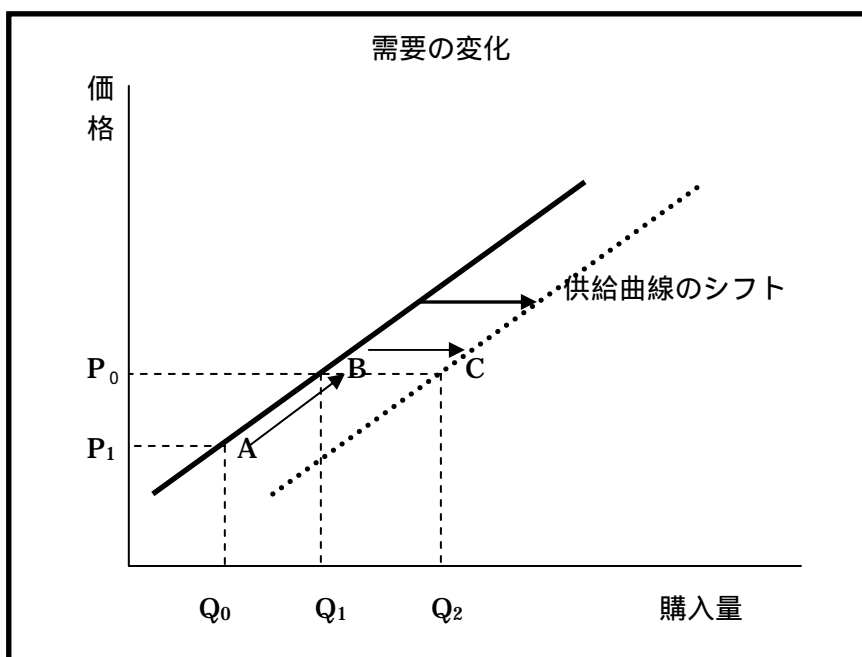
利用可能な技術の変化

予想の変化

自然環境の変化

信用の入手可能性の変化

4) 供給の変化



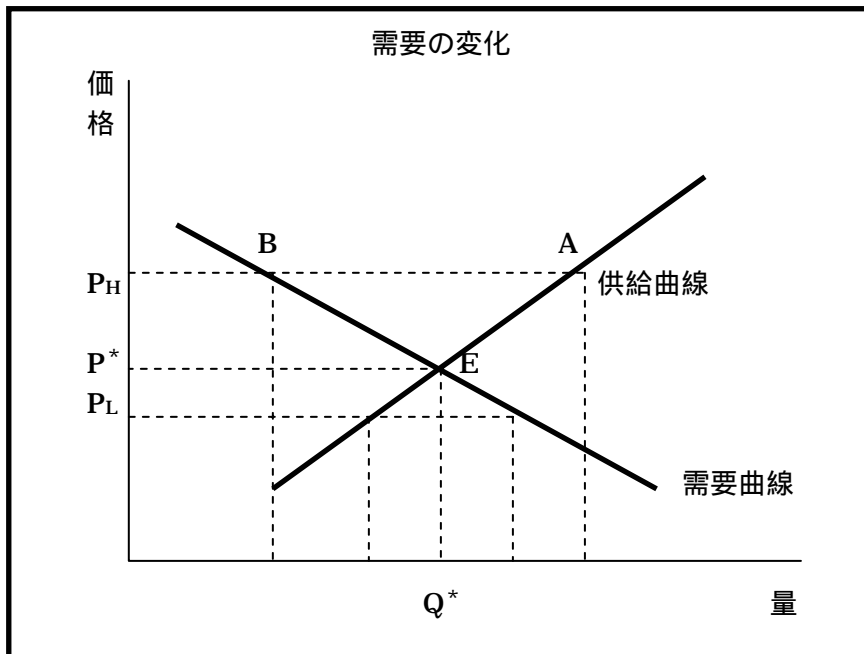
- A B 価格の上昇による変化
B C 供給曲線のシフトによる変化

4. 需要・供給の法則

市場需要曲線と市場供給曲線を同じグラフに描くことにより、均衡価格 (Equilibrium Price) と均衡数量 (Equilibrium Quantity) を導き出すことが出来る。均衡 (Equilibrium) という概念は、財の価格や財の量を変化させる力が働かない状態を意味する。

超過供給 (Excess Supply): 価格が均衡価格 P^* より高い場合、例えば図中 P_H 、超過供給が存在する。その価格で消費者が欲する需要量よりも、生産者が生産したいと考える生産量が多い。

超過需要 (Excess Demand): 価格が均衡価格 P^* よりも低い場合、例えば図中 P_L 、超過需要が存在する。その価格で消費者が欲する需要量が、生産者が生産したいと考える生産量を上回る。



需要・供給の法則 (Law of Supply and Demand)

競争的市場においては、実際の取引が需要と供給を一致させる均衡価格に近づけるよう作用することを意味する。

需要曲線と供給曲線を用いた問題

需要曲線のシフト

人々が地球温暖化問題に配慮するようになり、マイカーの購入を手控えるようになった。均衡価格は下落するか上昇するか。また、自動車の販売台数は減少するか増加するか。

供給曲線のシフト

新技術が開発されたことにより、液晶画面の生産コストが低下した。均衡価格は下落するか上昇するか。また、液晶画面の販売量は減少するか上昇するか。

5. 価格決定

使用価値「使用する場合の財の価値 水は使用価値が高いがダイヤモンドは低い」

交換価値「交換する場合の財の価値 ダイヤモンドは交換価値が高いが水は低い」

経済学では、「交換価値」を問題とする。